

第38回ムトス飯田賞の決定について

ムトス飯田推進委員会

第38回ムトス飯田賞について

ムトス飯田推進委員会（会長 飯田市長、座長 塩澤哲夫）は、このたびムトス飯田賞実施要綱に基づき、第38回ムトス飯田賞受賞者を決定しました。ムトス飯田賞は、一人ひとりの自発的な行動を表す言葉「ムトス（～せむとす）」の精神を広めるために、一市民の寄付を契機に創設されました。団体や個人の功績を称え、受賞者の生き生きと活動する姿が多くの市民の秘めたムトス精神に働きかけ、市民活動や協働がより一層広がることを目的に、表彰しています。

■受賞団体 平和の種プロジェクト実行委員会

アップルサンタ

<団体の紹介は別紙のとおり>

（決定の経過）

市民からの自薦他薦による「一般公募」を実施し、応募があった8件（団体8／自薦5他薦3）について、慎重に審議いたしました。

受賞対象となる活動の選考基準は以下のとおりです。

- (1) 「まさに…しようとする」という前向きな意志や意欲活動を継続して行っていること。
- (2) 他の団体や個人の活動に対して良好な影響を与え、波及性があること。
- (3) 地域社会への貢献が認められ、地域づくりに進んで参加するなどの協働の精神が認められること。

応募のあった方々はいずれも、飯田のまちづくりに大変意義深く関与しており、先駆的で能動的な活動をしておられます。未来に向けて更に発展されますよう、今後のご活躍を期待いたします。

<参考>

■ムトス飯田

「ムトス」という言葉は、広辞苑、日本国語大辞典などにも載っている「むとす」＝「…しようとする」という意味が込められており、行動への意志や意欲を表し、飯田市の地域づくりの合言葉にしています。英語の Will と同じで、行動への意思や意欲を表している。

昭和57年3月に飯田市が作成した「10万都市構想」で理想とする都市像の実現に向けての行動理念・合言葉として「ムトス」を使用した。理想都市実現に向けての市民一人ひとりの「しようとする」意志力を意味している。以来、地域づくりの合言葉として「ムトス飯田」を使用している。

わたしたちは「・・・しようとする。＝・・・せんとする。＝・・・せむとする。」
この人間の自発的な意志力を源とする、まちづくりを表す言葉に「ムトス」を用い、
そのムトスの集まる街を「ムトス飯田」と呼ぶ。また、「ワンムトス、ワンステップ」
を合言葉としたい。

(10万都市構想 田園都市をめざして ムトス飯田 から引用)

「地域を想い、自分ができることからやってみよう」という団体が数多く育ってきており、「ムトス」の名のもとに自発的な意思や意欲、具体的な行動による地域づくりが展開されている。

さらに、飯田市では「ムトス」という言葉を昭和62年に商標登録し、各種の構想・計画に使用している。

(例：昭和63年「ムトス飯田・学習交流都市構想」策定)

■ムトス飯田賞

昭和60年9月26日、飯田金物(株)の大平文人社長から、「ムトス飯田の精神を広めるために役立てください」との主旨で200万円の寄付を頂いた。飯田市では、ムトス飯田賞を設置し、ムトスの精神が際だっており、飯田の将来に向けて示唆的で主張のある活動をされている団体・個人を表彰することに決定した。当初は、基金200万円の利息で運用を開始した。

ムトスの活動を讃え励ます気持ちと、受賞者の活動する姿が多くの市民の「ムトス」を呼びおこし、大きな輪になって広がっていくことへの期待が込められている。

令和2年度までに75団体・2個人を表彰している。

■協働

複数の主体が何らかの目標を共有し、お互いの不足を補い合い相互理解して、自主性を尊重し、協力して取り組む状態およびパートナーシップをいう。

■表彰の対象とする団体

表彰の対象とする「団体」とは、法人格を有する事業者や企業も含む。